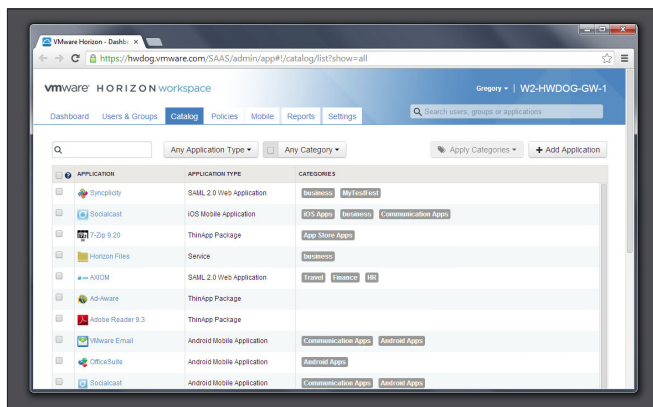


## 概要

VMware® Workspace™ は、任意のデバイスからアプリケーションへの容易なアクセスを提供します。IT 部門はこれらの資産を中央から提供、管理、保護することが可能です。その結果、エンドユーザーに真のモビリティが提供され、時間や場所を問わず必要なすべての資産にアクセスし、生産的に働くことができます。IT 部門は、さまざまなデバイスにわたって企業資産の管理性を高めることが可能です。



## モビリティ実現のための新たな戦略

今日の従業員は、さまざまなデバイスを使用してどこからでもインターネットにアクセスし、場所を問わずに仕事をしています。これは、生産性と効率性、コラボレーションをさらに高める働き方です。今日の企業は、このような新しいワークスタイルに対応し、これを支援するための戦略を策定する必要があります。

## VMware Workspace の仕組み

エンドユーザーは VMware Workspace を使用して、あらゆるデバイスから、SaaS アプリケーション、ThinApps でパッケージされたアプリケーション、Citrix 製品による仮想アプリケーションなどのすべての業務アプリケーションに容易にアクセスできます。一方、IT 部門には拡張性の高いポリシーベースの管理プラットフォームが提供されるため、デバイスの種類を問わず、これらの資産を一元的に管理および保護することができます。

## アプリケーションとデスクトップ アクセス向けの単一ワークスペース

VMware Workspace は、すべてのアプリケーションおよびデスクトップを含む企業ワークスペースを作成し、ユーザーがアプリケーションに容易にアクセスできるようにします。ユーザーは任意のデバイスを使用して企業ワークスペースにアクセスし、そのデバイスに適したアプリケーションとコンテンツを利用できます。

## コンテキスト ベースのユーザーと デバイスの管理

IT 部門は、さまざまな種類のアプリケーション、デバイス、オペレーティング システムを保護およびサポートする必要があります。VMware Workspace により、IT 部門はユーザー中心の管理プラットフォームを実現できます。このプラットフォームでは、すべてのアプリケーション サービスが中央でカタログ化され、ID およびニーズに基づいてユーザーに提供されます。組み込みのポリシーエンジンにより、IT 部門は任意のデバイスに対するアプリケーションのプロビジョニング、提供、および更新を迅速かつ容易に実行できます。各エンドユーザーには、適切なセキュリティ設定と制限が確実に適用されます。このアプローチでは管理の効率化を実現するだけでなく、新たにインフラストラクチャを構築しなくても新しいアプリケーション、デバイス、およびオペレーティングシステムに対応できるため、既存の投資を活用することが可能です。

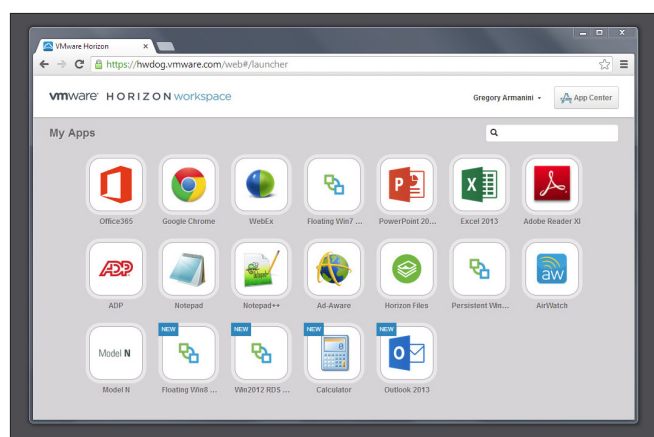
## 主な機能

### 場所を問わずアプリケーションにアクセス

- 単一のワークスペースから 1 つのパスワードを使用して、SaaS、VMware ThinApp® アプリケーション、Citrix XenApp® アプリケーションにアクセスできます。また新たにその他のアプリケーション（SaaS、モバイル、ThinApp、および Citrix XenApp アプリケーション）へのアクセスが必要な場合は、アプリケーションストアからリクエストすることも可能です。
- デスクトップ（Windows および Mac）とすべてのデバイス間でアクティビティを同期し、時間や場所を問わず企業のファイルにアクセスできます。

### セキュアなモバイル ワークスペースの提供

- ユーザー ポータルのショートカット アイコンやテキストに、カスタム ブランド（企業のロゴや名前、製品名）を利用できます。



### アプリケーションの統合管理

- 専用のワークスペースから、アプリケーションとエンタープライズサービスのプロビジョニング、提供、およびアップデートを迅速かつ容易に実行できます。
- 物理アプリケーション、Web アプリケーション、外部ストアに公開されたアプリケーションおよび関連アプリケーションを、アプリケーション カタログで分類、公開、バージョン管理、および提供することが可能です。
- アプリケーションの使用権限を管理できます。
- アプリケーションの事前設定を行ってから従業員に提供します。

### ポリシー ベースの運用管理

- さまざまなシステムのアプリケーションおよびデバイスに対応する単一のポリシー エンジンを使用して、管理性と安全性を確立します。
- ポリシーを動的に更新します。
- ポリシーのシナリオを視覚化します（ポリシー セットの指定、優先順位の指定、ユーザーとグループの関連の理解）。

### コンプライアンスの維持

- 100 以上の監査イベントを指定できるほか、割り当ての使用量、ドキュメントへのアクセス、外部からのログイン、アプリケーションの使用、管理下のデバイスなど数百種類のレポートを作成できます。
- ユーザー、グループ、またはグローバル ベースのポリシーに基づいて、監査用にイベントのログを作成し、ドキュメントを保持します。

## 詳細情報

詳細については、次の VMware Workspace の Web ページを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/horizon-workspace/>

## VMware Workspace の購入方法

VMware 製品の購入方法については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品仕様およびシステム要件の詳細については、Workspace のインストールと構成ガイドを参照してください。